

まろにえ便り

VOL. 14 ~ 令和3年12月 発行 ~



社会福祉法人函館共愛会
養護老人ホームまろにえ



ご挨拶

施設長 宇野 郁子

令和三年も残すところ、あと1ヶ月ほどとなり、本格的な冬の訪れがすぐそこまで迫っております。今年にはワクチン接種が進み、感染者が減少してきましたが、面会や外出などの制限で皆様にはご不便をおかけしております。皆様のおかげで、入居者様をはじめ、職員の感染を起こすことなく過ごすことができいております。

先日、享年99歳でこの世を去った瀬戸内寂聴さんが、生前に語った言葉の一部です。

「笑顔を忘れないでくださいね。憂うつな悲しそうな顔をしていると、悲しいことが寄ってきます。いつも朗らかに明るくしていればいいことが寄ってくるんですよ。生きていれば、悲しいことも苦しいことも、腹の立つことも起こります。そのたびに姿勢を悪くしてしまったり、悲しいことや苦しいことがもっと重くなるんです。ですから「負けるもんか」。」
来年に向け、コロナに『負けるもんか』の精神で、職員ともども頑張つてまいりたいと思っております。
入居者様、ならびにご家族の皆様には、もう少しご不便とご心配をおかけ致しますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

クリスマス



昼食ではクリスマスの特別メニューを堪能しました。
入居者の皆さんへ担当の介護職員からメッセージカードを
プレゼントすると、皆さんとても喜ばれておりました。

新年居室訪問・

お屠蘇まわり



毎年、入居者の皆さんの一年間の
無病息災を願いながら、職員を代表
して施設長と各職種の責任者が、
居室を訪問して新年のご挨拶と
お屠蘇まわりをさせていただいて
おります。

新春 喫茶



新年のお祝いに新春喫茶を開催して
あんことみたらしのおもちをみんな
でいただき、とても好評でした。
おみくじも引き、一年の運勢を占い
ました。
毎年恒例の松前神楽は、コロナ禍と
いうことで招待することができませ
んでしたので、今年は配信動画を鑑賞
して楽しみました。

～ 節 分 ～



今年も年男・年女の入居者の方が、居室を訪問し、元気良く「鬼は外！福は内！」と言いながら豆やお菓子を配りました。受け取った皆さんも、「縁起が良い！」ととても喜ばれておりました。

やよいのお茶会



やよいのお茶会では施設長特製の甘酒を提供し、入居者の皆さんから「すごく美味しい！」と好評でした。

まろにえ開設11年 祝い膳（4月）



お楽しみ昼食会



6月に各ユニットの食堂でお楽しみ昼食会が行われました。余興では職員3名によるギター演奏と合唱が披露され、なつかしい歌を聴き、大変喜ばれておりました。その後に昼食メニューが紹介され、いつもと違う昼食の内容を楽しまれておりました。

まろにえり



訪問販売で来ていただいていた
中西商店様より、きゅうりの一本
漬けをご協賛いただきました。
入居者の皆さんから「美味しい！」と
とても好評でした。
ありがとうございました。





昼食でお祭り風メニューを
味わい、午後からは屋台
コーナーでヨーヨー釣りや
射的などを楽しみました。
ゲームのほかにも、かき氷や
きゅうりの一本漬けを堪能し、
お祭り気分を大いに味わい
楽しいひと時を過ごしました。

敬老会



始まる前はすごく緊張しているのが周りにも伝わってききましたが、演奏を終えて皆さんから温かい拍手をいただき、いつもの笑顔が戻りました。



着物を着て格好よく登場。落語はとても面白くて、皆さんを笑顔にしてくれていました。でも本当は、緊張でのどがカラカラだったそうです。(笑)



9月に敬老式典を開催し、100歳と白寿を迎えられた入居者の方を代表にお祝いしました。

コロナ禍で外部の方を招待することができず、式典の余興では職員がピアノ演奏や落語を披露しました。入居者の皆さんだけでなく、普段一緒に働いている職員も、その本格的な腕前に驚きつつ、とても楽しい時間を過ごすことができ、コロナ禍で大変な中、入居者の皆さんの笑顔に職員も癒されました。

～ 新 入 職 員 の ご 紹 介 ～



ささき ももか
佐々木 桃佳 (介護職員)

4月から務めさせていただいております。
まだまだ至らない点ばかりで、皆様にはご迷惑をおかけ
致しますが、頑張つて少しでも早く仕事を覚えていきたい
と思っておりますので、よろしくお願い致します。



くき ともえ
九鬼 朝生 (事務職員)

今年の4月からお世話になって半年以上が経ちました。
事務以外でも皆様のお力になれるよう、努めてまいり
ますので、よろしくお願い致します。



あいば まき
相庭 麻希 (事務職員)

8月より事務員として務めさせていただいております。
優しい先輩と入居者の皆様に囲まれ、楽しく過ごしてい
ます。
一日でも早く仕事を覚え、皆様と接する機会を増やして
いきたいです。

～ 職 員 の 取 り 組 み ～



コロナ禍で二年間近くに及び外出
行事や外部の方を招待して施設内
行事を開催することができない中、
入居者の皆さんの生活に、少しでも
楽しい時間を作れるよう、職員が
個人の特技などを持ち寄り、披露
しています。



上の写真はアロマオイルを使った
ハンドマッサージ、下の写真は絵本
読み聞かせと紙芝居です。
ほかにも様々な特技を披露して
おりますので、今後も紹介して
いきます。

感謝

佐藤雄喜先生より展示会で
ご披露された作品を寄贈
いただきました。
1階ロビーがとても華やか
になりました。
ありがとうございました。



【まろにえのコロナウイルス感染予防への取り組み】

入居者、職員、関係業者の コロナワクチン接種



入居者の皆さんをはじめ、職員や関係業者が6月と7月にワクチンを接種しています。
入院中などの理由で、その時に接種できなかった入居者の方も、その後接種をしています。

感染者専用居室 & 陰圧式テントの設置

万が一、コロナウイルス感染者が出ても専用居室を設け、陰圧式テントを設置して対応します。



コロナウイルス発生時の シミュレーション



コロナウイルスの感染者が出た場合に迅速に対応できるよう、シミュレーションを行い、日ごろから備えています。

まろにえ便り第14号を
発行致しました。
今年もコロナウイルスの
感染予防が続き、行事の
規模を縮小しての開催と
なっております。
コロナウイルスの終息が
見えない中で、職員一同
少しでも入居者の皆様に
楽しい時間を過ごしても
らせるよう、様々な特技
を披露させていただき、
その様子を広報誌でも
ご紹介していきますので
お楽しみいただけます
幸いです。

編集後記

【広報誌編集委員】

相原 勝紀
小崎 梨菜
佐藤 ひとみ
畑中 瑞希
熊谷 光代
九鬼 朝生

発行日 / 令和3年12月1日
編集・発行 / 社会福祉法人函館共愛会 養護老人ホームまろにえ 広報誌編集委員会
〒042-0915 函館市西旭岡町3丁目239番地2
TEL : 0138-84-6645 FAX : 0138-50-5535
URL : <http://maronie.kyouaikai.com>

